春日井市図書館　# 図書館だより　2024年冬号

休館のお知らせ

市内の図書館・図書室は

令和６年 12 月 29 日（日）～令和７年１月３日（金）まで休館します。

文化フォーラム春日井内の春日井市図書館は

令和７年１月 14 日（火）～24 日（金）まで

空調設備工事のため臨時休館します。

ご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いします。

なおグルッポふじとう図書館、ふれあいセンター、公民館図書室は通常開館します。

※図書館３・４階は御利用できませんが、**地下１階で予約本の貸出のみ行います。**

イベント

本の福袋

図書館３階　児童向け

12 月 27 日(金)・28 日(土)・１月４日(土)・５日(日)開催

テーマに関連した本が3冊入っています。どんな本が入っているのかは、お楽しみ！

企画展示
昭和１００年

図書館３階

令和６年 12 月 13 日（金）～
令和７年１月 13 日（月）

令和７年は昭和元年から数えて 100 年の年。昭和から令和までを振り返る本を特集します。

読書感想画コンクール
優良作品展

文化フォーラム春日井１階ギャラリー

令和７年２月５日（水）～９日（日）
9：30～17：00（９日は 15：00 まで）

市内の小中学生が描いた読書感想画の作品展です。

春日井市図書館　電話：(0568)85-6800

〒486-0844　愛知県春日井市鳥居松町５丁目 44 番地　文化フォーラム春日井　３・４階

開館時間：午前９時～午後８時　休館日：月曜日（休日の場合はその直後の休日でない日）

おすすめ本紹介

美肌づくり

いよいよ冬本番。空気が乾燥していると星空はキレイに見えますが、お肌にとっては「大敵」なんです。この時季、普段はお肌のトラブルがない方でも調子を崩しがちになります。そうならないためにも、しっかり対策しましょう。

『お肌は最強の「バリア」です！』

高瀬　聡子/著　晶文社　595.5/オ/23

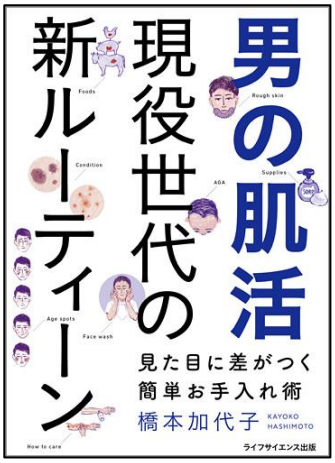
アフターコロナ、マスクが外れて落ちついたところで、以前よりもっと好印象をもってもらいたい、元気にきれいになりたいと思うあなた！全身と心のコンディションを整えリラックスする時間をもつことで、日頃気になる肌トラブルを解消して「美しく」「すこやかな」肌を手に入れましょう。

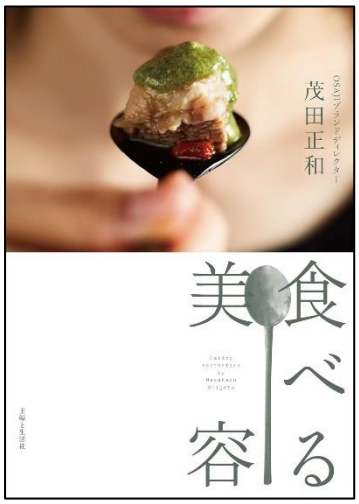
『男の肌活　現役世代の新ルーティーン』

橋本　加代子/著　ライフサイエンス出版　595.5/オ/22

アンチエイジングや肌トラブルといった悩みは女性だけのものではありません。多くの男性は、まだまだ美容に興味を持つことに抵抗感があるようですが、今や「人生１００年時代」。

スキンケアを行って見た目が清潔で魅力的だと、いろんなことに前向きになれるのではないでしょうか。今後の人生の良い変化につなげましょう。





『食べる美容』

茂田　正和/著　主婦と生活社　498.5/タ/23

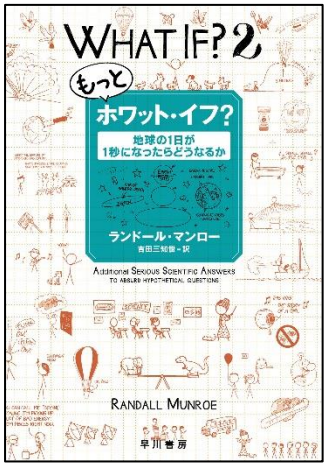
「肌に悩みを抱える人が少しでも前向きになれるように」「歳を重ねた未来が魅力あふれたものとなるように」と考え、肌のメカニズムをわかりやすく解説しながら「食べる美容」レシピを季節ごとに紹介しています。「心地の良い自分=ありたい自分」に近づくために「食べる美容」「読む美容」をマスターして自分のものにしましょう。

おすすめ本紹介

もしも

もしもの時に備えることは、とても大切です。世の中にはたくさんの”もしも”があります。

もし、そのような事態に陥った際に、役に立つかもしれない本を紹介します。ただし本編の前に”おことわり”等がある本もありますので、そちらをご留意のうえ読書をお楽しみください。



『もっとホワット・イフ？』

ランドール・マンロー/著　吉田　三知世/訳　早川書房

404/モ/22

ありえない仮定の問題を、科学の裏付けに基づいてわかりやすくユーモラスに答えてくれる一冊です。著者曰く、「なんの役に立つのかと言われたら、好奇心に答えることは大切だし、問題解決に使う科学への当てはめ方や解く手段は実際役立つ」とのこと。”ちょっとヤバそうな質問”と”さくっと答えます”の２段階の仮定から構成されていて、興味のある質問だけ読んでも楽しめる本となっています。

『もしも家にペンギンが来たら・・・』

上田　一生/監修　　主婦の友社　48/モ/23（南部）

人生何があるかわかりません。もしかしたら、わが家にペンギンが来ることだってあるかもしれない。そんな時はこの本です。ペンギンの生態のちょっとした疑問解決に、お役立ち間違いなしの一冊となっています。もしペンギンを飼うことになった場合の、地域別おすすめペンギンも掲載されていますので、ご参考までに。

『もしも海賊に襲われたら』

ジョシュア・ペイビン、デビッド・ボーゲニクト、ベン・H.ウィンターズ/著　梅澤　乃奈/訳　文響社

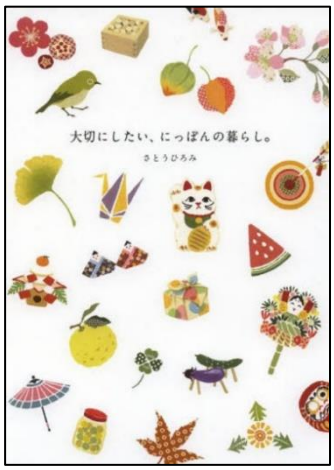
369.3/モ/24（グリーンパレス）

「あっさり諦めるか、生き延びるか。人生、それが問題だ。」序章引用。どこかで聞いたことがあるような、ないような気がするこのフレーズ。訳者曰く、「この世界は危険に満ちている」ため注意しすぎということはないと警告を促しているこの本は、シリーズ３作目です。すでに４作目も出版されていますので、様々な危機に遭遇した際にはお役に立つかもしれません。

おすすめ本紹介

丁寧な暮らし

「丁寧な暮らし」とは、はっきりとした定義はないのですが、心地よく暮らすための工夫やライフスタイルのことを言うようです。どの様に暮らすかは人それぞれですが、今回紹介する本の中からヒントが見つかるかもしれません。あなたに合った丁寧な暮らしを始めてみませんか？



『大切にしたい、にっぽんの暮らし。』

さとう　ひろみ/著　サンクチュアリ出版　386.1/タ/15（南部）

昔ながらの風習や伝統行事をきちんと日常に取り入れている生活は素敵ですね。でも、少々ハードルが高いと感じてしまうかも…。

この本は、日本に昔からある大切にしたいものを、気負わずに楽しめる歳時記です。行事の説明や旬の食材を使った料理などを、イラストたっぷりで分かりやすく紹介しています。

『北欧の心地よい暮らしと５５の小さな幸せ』

ｔａｎｕｋｏ/著　ＫＡＤＯＫＡＷＡ　590/ホ/22（ふじとう）

スウェーデンの人々が大好きなものや大切にしていることを、現地に住む日本人の著者が紹介。「毎週木曜日は豆スープとパンケーキを食べる」など、日本ではなじみのない習慣があるのも楽しいですね。

好きなものに囲まれてゆったりと暮らす彼らのライフスタイルは、日々を心地よくすごすヒントをくれます。

『野口光が教える一生使えるダーニング術』

野口　光/著　秀和システム　593.3/ノ/21

お気に入りの服や靴下は、汚れたり穴が開いたりしても捨てられないもの。繕いながら大切に使いたいですね。

「ダーニング」とは英語で「繕う」という意味。簡単なステッチで、傷みを補強したり汚れを目立たなくしたりします。生地になじむ糸を使うか、全く違った色を使ってアクセントにするかで仕上がりが変わってきます。大切な衣類を素敵によみがえらせましょう。